



ひと 女と男の行詩 ひと

今年度も男女共同参画社会の実現に向け、身の回りで感じる「男女共同参画への想い」などを詠んだ一行詩を募集したところ、全国から3,689点の作品が寄せられました。数々の力作の中から入賞作品が決定しましたので、ご紹介します。(敬称略)

また、今回の入賞作品等を10月7日(金)まで市役所1階ロビーにおいて展示します。 関 市民生活課 (☎ 82-1137)



最優秀賞

社会は五線譜 ぼくらは音符 弾んで跳んで 交響詩『ひと』

神奈川県藤沢市 相模 秋茜

選評

社会のひとりひとりが音符となってどのようなにも奏でることができる五線譜。お互いが影響し合い、多様な未来が生まれることが想像できます。また、弾んで跳ぶ生き方を認めるだけでなく、それを交響詩にまとめあげる力こそが“自治”の力、公の力かもしれません。

受賞者
コメント

性差、年齢差、障がいの有無などを超えた社会…色とりどりのゴムボールが光り輝いて飛び跳ねている様子が思い浮かびます。そこに調和とリズムが生まれたら、暮らして音楽ではないか!と想像しました。思いやりさえあれば、私たちは象形文字の孤独な「人」から温かな「ひと」へと変わるはずです。さあ、みんなで。

優秀賞

癒される 夫の作る お味噌汁 がんばる私のエネルギー
互い違いを組み合わせ 人生織りなす女と男

千葉県木更津市 こ あら
新潟県長岡市 桂

入選

ふれあいの ^{かず}数^うだけ生まれる ありがとう ^{ちいき}地域^{そだ}育てる ^{ひと}女^{ひと}と男
子育ては 社会みんなで する仕事
苦勞知り 購入決めた 食洗器
祖母に手を貸す祖父を見るのが好きな孫
今必要 「お互い様」の調味料
女と男 違いが仕事の 質上げる
ばあちゃんち たまには言って じいちゃんち

山口県宇部市 工藤 敏子
福岡県宗像市 古賀 厚子
愛知県清須市 さごじょう
佐賀県唐津市 し い ま
東京都羽村市 佐藤 順
千葉県船橋市 茶トラねこ
大阪府大阪市 渡辺 廣之

特別賞

いつもと変わらぬ 家族の会話 まさしくこれが わたしの幸せ

山陽小野田市 (サビエル高等学校) 原田 茉実

「おかえり」の 声と共に ひびいてく 家族のやさしさ わが家の夕方

山陽小野田市 (埴生中学校) 河本 勇輝